

令和3年度 附属学校園研究支援・特色化にかかわる事業実施報告書

事業の名称	附属旭川「12年教育の実現」多様な人と関わり、豊かな人生を切り拓く人材の育成ー附属旭川「12年教育」の基盤となる豊かな人間関係作りを推進する保育環境の充実ー【幼】
事業実施代表者名	園長 佐藤 公文
実施附属学校名	附属旭川幼稚園
事業内容 (実施内容について、1,000字程度で記述)	<p>【事業内容】</p> <p>◆附属幼稚園としての特色ある保育</p> <p>①幼小中12年で育む資質・能力の相互確認と 附属旭川幼小連携プランの作成</p> <p>附属学校園の立地と特色を生かし、幼小の園児・児童による交流、小中の児童生徒による交流に加え、幼小中の園児・児童・生徒が一体となる体験活動を実施した。また、幼小中におけるカリキュラムマネジメントの取組により、12年を見通した取組による成果を踏まえた教育活動の一層の推進を図った。</p> <p>②非認知能力を育成する遊びの研究につながる 木製玩具の整備と実践資料の収集</p> <p>園児一人一人が「やってみたい」という思いを高めて豊かな活動を展開するための環境構成を工夫するために保育玩具の充実を図る取組や、園児の活動やその見取りを担当・副担任・支援員等で検証し共有する「フォトカンファレンス」を定期的実施し、環境構成や保育の共有・見直しを図った。</p> <p>③幼児教育におけるICT化の推進</p> <p>各保育室に大型のディスプレイを設置すると共にWIFI環境の整備を行った。このことにより保育研究のICT化を推進するとともに、園児がICT機器を使って遊びを探求しやすい環境整備を行った。</p>
成果と課題 (活動の成果と課題について、500字程度で記述)	<p>今年度もコロナ禍の中で、十分な実践研究を進めることが難しかった面はあったものの、園長のリーダーシップにより特色ある研究実践を重ねることが出来た。</p> <p>園児に豊かな心を育み、非認知能力を育む保育の充実を図るために、木製玩具の整備を積極的に行った。また、園内のICT環境整備を積極的に推進することができた。</p> <p>【数値目標】</p> <p>◇在園保護者の園教育への満足度（肯定的評価）98%（達成）</p> <p>◇令和4年度の入園希望者（3歳）は定員充足率120%（達成）</p>

	<p>課題としては、コロナによって実践が難しかった幼小中の連携による 12 年教育の具体実践を意識したカリキュラムマネジメントの推進が挙げられる。幼稚園教育において育まれた資質・能力の幼小連携による共有化，教育活動による成果の効果的な発信の工夫，子育て支援など保護者のニーズに対応していく取組の更なる推進が挙げられる。</p>
<p>今後の発展性 (残された課題の解決方策及び取組の方向性について、500 字程度で記述)</p>	<p>今年度整備した ICT 環境を生かした保育のあり方についても検証していくことでより GIGA スクールとの連続性について検証することが出来る。</p> <p>カリキュラムレベルでの幼小架け橋プログラム旭川版を作成し様々な観点からの附属旭川 12 年教育の実践を充実させていく可能性を高めていく。</p>
<p>事業の公表状況 (事業をHPで公開した場合、又は新聞等に掲載された場合、当該媒体名、掲載日等を記入)</p>	<p>令和 3 年 12 月 2 日 北海道通信 研究大会記事掲載</p>

(注) 当該事業に係る写真等の参考となる資料がある場合は、この事業報告書に添付すること。

支出実績額内訳

(附属学校名)

区 分	予算額	支出実績額	内訳 (簡潔に記載すること)
旅 費	81千円		
謝 金			
備 品 費		81千円	映像設備機器 (大型モニター)
消耗品費			
そ の 他			